



学校だより【4月】

本年度の教育ビジョン

現在の子どもが大人になる頃は、今より更に生活環境や習慣が変化し、先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）になると言われています。このような社会に必要な「生き抜く力」は、困難や挫折を乗り越えるための能力を指します。この力は、特に教育において重要視されており、具体的には、失敗から学ぶ経験や、主体的に学ぶ姿勢が大切と言われています。



このようなことから、令和7年度の学校教育目標を

「気づき・考え・行動する児童の育成」 としました。

指示待ちではなく、様々な事象に対して個々の児童が自ら「気づく」ことを第一目標とします。そして、そのことについて解決策等を「考え」「行動する」力を、授業をはじめ全ての教育活動で身に付けさせていきたいと思ひます。



身に付けさせたい資質・能力

気づく力

考える力

行動（協働）する力

一人の子どもが、**気づき・考え・行動**することは「点」の活動です。このことを複数人で行えば「線」になります。学級全員でやったら「面」、学校全体で実践できたら「体(立体)」へと広がっていきます。子どもが主体となる授業や学校行事等を全面的に支えていきます。



具体的な姿（合い言葉）

「ありがとう」で つながる 黒肥地小学校

- あ** 当たり前のことを、びっくりするほど ちゃんとやる 子ども（ABC運動）
- り** 凜とした（立派な） あいさつ・返事ができる 子ども
- が** 学習をつくる 子ども
- と** 友達や命（自分やモノ）を大切にする 子ども
- う** 動く 子ども



令和7年度は、7人の新入生を迎え、本校99名、分校2名、職員23名でスタートしました。本年度も保護者や地域の皆様等のご理解とご協力を得ながら、一人一人の子どもたちを育てていきたいと思ひます。



毎月末に発行する「学校だより」では、学校教育目標や身に付けたい資質・能力及び目指すべき児童の具体的な姿の進捗（成長や課題等）をお知らせしていきます。

教育活動の様子は、随時本校のホームページでご紹介しますので、そちらをご覧ください。

↑ **あ** 当たり前のことを びっくりするほど ちゃんとできている（靴のかかと揃える）